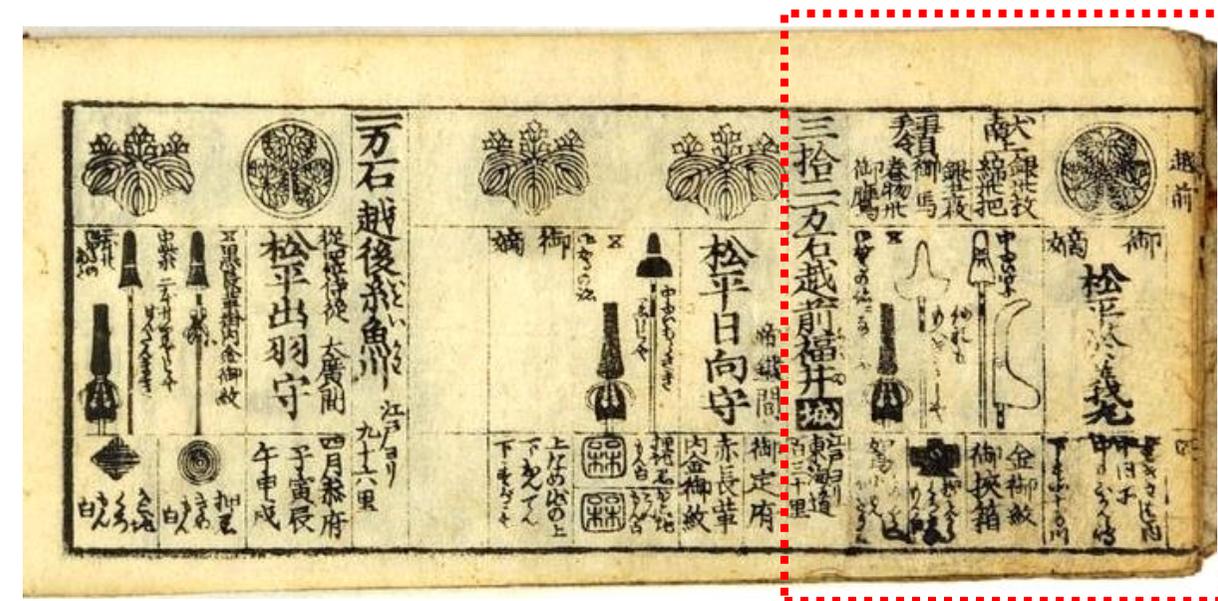
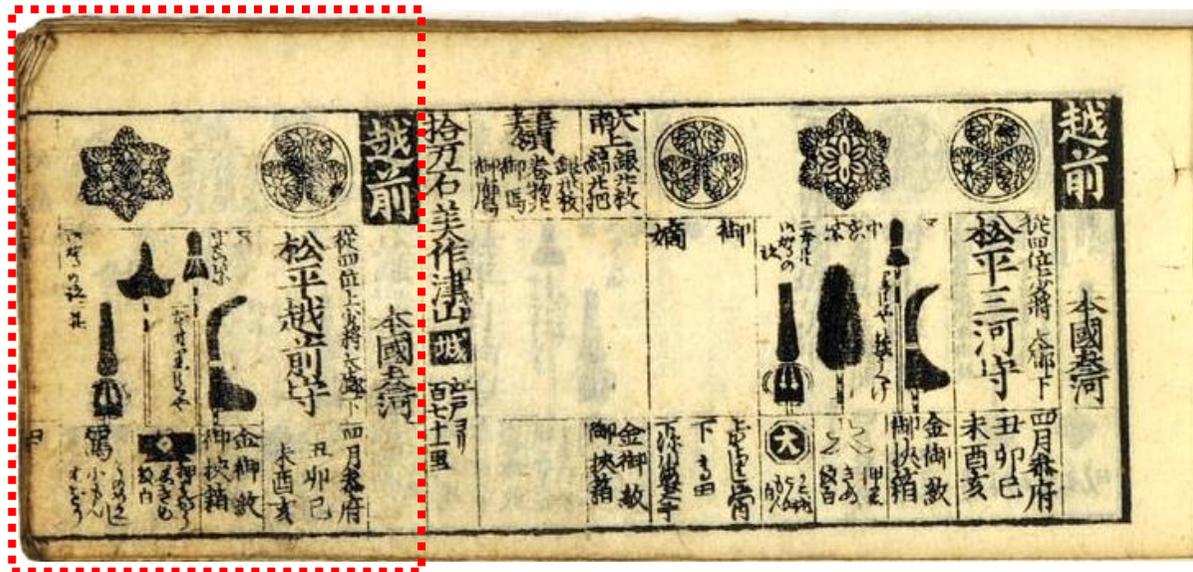


天保武鑑（参勤交代のガイドブック）



1834年（天保5）「天保武鑑」（松平齐承部分）

吉川充雄家文書（当館蔵）[デジタルアーカイブへ](#)

解説

参勤交代とは、将軍への臣従の証として幕府が大名を一定期間江戸に参勤させた制度です。1635（寛永12）、**徳川家光**の代に出された**武家諸法度**の「大名小名、在江戸交替相定むるところなり、毎歳夏四月中参勤致すべし」という規定により制度化され、諸大名は原則として1年ごとの在府・在国を繰り返すこととなりました。当初参勤交代を命じられたのは外様大名でしたが、のちに譜代大名や親藩も加えられました。

参勤交代の大名行列は、大名の石高や価格に応じた体裁を整えて威厳を示す必要がありました。そのため幕府が人数制限をしたにもかかわらず、必要以上に人数を増やすなどして大規模で華麗な編制となっていました。

福井とのかかわり

福井藩の場合は3月下旬に福井を出発し、4月初旬に江戸に到着することが通例となっていました。経路は北国街道・中山道・美濃路経由で東海道に入るルートが一般的で、所要日数はおよそ14日間でした。

福井藩の参勤交代の人数については、およそ1000人程度だったと考えられます。例えば1747（延享4）近江で宿泊した際の宿割帳によると、宿泊者数は953人でした。

幕末期の資料によれば、参勤交代の費用は、1849（嘉永2）に1888両2朱、1851年（嘉永2）に2145両となっており、2000両前後を必要としていたことがわかります。

また参勤にともない、1年間江戸で生活することになるのですが、その費用（江戸入用）が非常に膨大でした。1849年の江戸入用は4万6188両2歩となり、これは当時の国元での費用である1万3321両2歩2朱をはるかにこえていました。

資料の注目ポイント

「天保武鑑」は天保期における大名等の基本情報をまとめた資料集です。家紋、官位、江戸城での控室、参勤の時期、諸道具、江戸屋敷の所在地、献上品や拝領品などがひと目でわかるように記載されています。武士だけでなく町人や百姓にも重宝され、政務に、取引に、お土産に、といろいろな場面で活用されたようです。

画像は第14代福井藩主松平齐承の掲載箇所です。献上品をみると「銀30枚・綿30把」と書かれています。

ほかにも福井県ゆかりの大名としては、第6代丸岡藩主有馬徳純、第7代勝山藩主小笠原長貴、第10代小浜藩主酒井忠進、第7代大野藩主土井利忠、第7代鯖江藩主間部詮勝らが掲載されています。

関連資料、展示等

名称	概要	備考
「天保武鑑」	吉川充雄家文書（当館蔵） 資料番号 C0037-00604	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 （松平齊承） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-350899-1-p7 （有馬徳純） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-350899-1-p22 （小笠原長貴） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-350899-1-p30 （酒井忠進） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-350899-1-p31 （土井利忠） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-350899-1-p40 （間部詮勝） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-350899-1-p55
福井県文書館月替展示 「春嶽の旅日記 －「東海紀行」でたどる参勤交代－	「天保武鑑」を展示。	当館 WEB で公開中。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/08/m-exhbt/20170102AM/20170102.html

参考文献等

『福井県史 通史編4 近世2』（福井県 1996年）

印牧信明「福井藩主の参勤交代について」（福井市立郷土歴史博物館特別展図録『福井藩と江戸』、2008年）

天保武鑑－ADEAC <https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/ImageView/1312015100/1312015100100010/042/> （2017年12月7日閲覧）

天保武鑑 巻1-3[4] <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2547177> （2017年12月7日閲覧）

旗本御家人Ⅲ－17. 武鑑 <http://www.archives.go.jp/exhibition/digital/hatamotogokenin3/contents/17/index.html> （2017年12月7日閲覧）